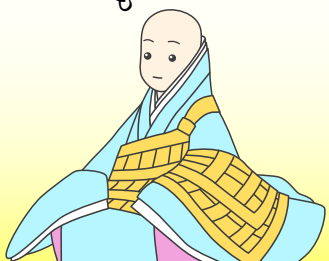


百人一首 (うたばんごう 歌番号: 6 ~ 10)

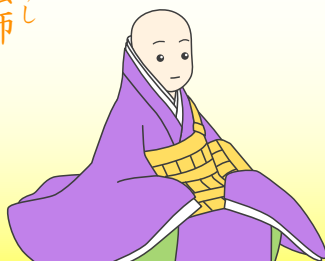
これやこの
ゆくも帰るも
わかれては
別れては
知るも知らぬも
あふ坂の関
あふ坂の関
蝉丸



花の色は
移りにけりな
いたづらに
わが身世にふる
ながめせし間に
小野小町



わが庵は
都のたつみ
しかぞ住む
世をうぢ山と
人はいふなり
喜撰法師



天の原
ふりさけ見れば
春日なる
三笠の山に
出でし月かも
阿部仲麻呂



かささぎの
渡る橋に
置く霜の
白きを見れば
夜ぞふけにける
中納言家持



しるもしら
ぬもおうさ
かのせき

わがみよに
ふるながめ
せしまに

よをうじや
まとひとは
いふなり

みかさのや
まにいでし
つきかも

しろきをみ
ればよぞふ
けにける